

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	都城の文化と歴史					授業形態	講義			
科目コード	750009	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブラーニング		
担当教員名	早川 純子							ICT活用	○	
授業概要	この授業の目的は、都城地域の歴史や文化について学習することを通して都城地域についての理解を深めることである。4年間の学生生活や様々な学習活動を展開していく際の基礎的な素養を培う講義として位置づける。なお、授業は複数の講師によるオムニバス形式で行う。									
関連する科目	教養教育科目「歴史と社会」を合わせて受講することで、都城史の位置付けが明確になり、理解の深化が期待できる。									
授業の進め方と方法	授業は複数の講師によるオムニバス形式で行います。担当者によっては、学外見学を実施します。									
授業計画【第1回】	都城の歴史と都城島津氏（山下真一） ：都城島津家及び島津家の歴史について説明した上で、都城の歴史や文化における地域の人々の暮らしと島津家との関係の深さを紹介									
授業計画【第2回】	島津の歴史と都城（山下真一） ：都城島津家及び島津家の歴史について説明した上で、都城の歴史や文化における地域の人々の暮らしと島津家との関係の深さを紹介									
授業計画【第3回】	都城の文化と島津氏（山下真一） ：都城島津家及び島津家の歴史について説明した上で、都城の歴史や文化における地域の人々の暮らしと島津家との関係の深さを紹介									
授業計画【第4回】	都城の美術家（祝迫真澄） ：都城ゆかりの美術家の歴史について学ぶ									
授業計画【第5回】	地域の美術と鑑賞（祝迫真澄） ：地域と美術について、鑑賞を通して学ぶ									
授業計画【第6回】	都城盆地の成り立ちと大地に刻まれた祖先の足あと①（桑畑光博）									
授業計画【第7回】	都城盆地の成り立ちと大地に刻まれた祖先の足あと②（桑畑光博）									
授業計画【第8回】	都城の年中行事とまつり（新宮高弘） ：都城の季節の移り変わりを見てみよう									
授業計画【第9回】	都城の民俗芸能と民謡（新宮高弘） ：昔の人の楽しみだった？									
授業計画【第10回】	都城の方言と民話（新宮高弘） ：使う人が少なくなった方言を考えてみよう									

授業計画【第11回】	文化財の面白さを知ろう！（武田浩明） ：文化財とは何かやその保護の歴史を学習するとともに、文化財の種類について写真を示しながら説明する。
授業計画【第12回】	都城の有形文化財（武田浩明） ：都城市の国・県・市指定の有形文化財や国登録有形文化財を写真を示しながら説明する。
授業計画【第13回】	都城市の民俗文化財と史跡（武田浩明） ：都城市の国・県・市指定の民俗文化財と史跡を写真を示しながら説明する。
授業計画【第14回】	都城市の都市計画（都城市都市計画課） ：将来に向けたまちづくりのルールについて
授業計画【第15回】	都城市の地場産業・観光イベント（都城市みやこんじょPR課） ：都城市がPR事業を行う目的とその成果について
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・都城地域の歴史や文化について主体的に学習することを通して、都城地域についての理解を深めるとともに、4年間の学生生活やさまざまな学習活動を展開していく際の基礎的な素養を養う。 ・都城の文化と歴史に係る問題にどのような歴史的背景があるのかを検討した上で、自分なりの意見を述べるができるようになる。
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	予習については、指定された文献を事前に熟読し、次回の講義内容を把握しておく。専門用語の意味も調べ、理解しておくこと。（学修に係る標準時間は約1時間）
授業時間外学習【復習】	復習については、授業内容を振り返って要点を整理し、さらに関連情報を収集しまとめる。授業終了後に課題が課される場合は、課題の作成を行う。（学修に係る標準時間は約1時間）
課題に対するフィードバック	課題については、評価して解説を行う。
評価方法・基準	講義者の講義ごとにレポートが課されるが、授業態度を含め講義者全員の評価を総合して判断する。各講義者からの課題は全て提出が必要。
テキスト	随時、資料を配布する。
参考書	適宜、紹介する。
備考	郷土史や美術、考古学の専門家が担当。